

科目名	救 急 処 置【健栄・社福】					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	井 上 俊 孝・満 丸 望						
開 講 年 次	2	開講期	後期	単位数	健栄 1 社福 2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	講義・ビデオ・実習による演習を組み合わせを行い、運動療法やトレーニング、介護の際を含めた緊急時に対処するため、必要な知識を得る。						
授 業 の 到 達 目 標	運動指導や運動療法・介護業務等を行う際に必要な救急処置の知識として必要な以下の技術を体験し習得する。 1. BLSコースを基本とした救命処置が行える。 2. 捻挫や骨折、打撲、外傷予防に対するテーピングが行える。 3. 外傷などに対する応急手当が行える。						
学 習 方 法	講義・演習・その他						
テキスト及 び参考書等	開講時に指定する。						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート	○						20
授業態度		○	○				20
受講者の発表			○				15
授業への参加度			○				15
その他	○	○	◎	○			30
	実習（必須参加）						
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	オリエンテーション						
第 2 週	救急蘇生法（心肺蘇生法・止血法）の概要						
第 3 週	症状・疾患別の対応（意識障害・胸痛・脳貧血）						
第 4 週	症状・疾患別の対応（熱中症・過換気症候群）						
第 5 週	救急蘇生時の感染の可能性について						
第 6 週	救急事態の発生予防と対応のシステム化について／救命手当の法的問題に関する基本的な考え方						
第 7 週	外科的対応の方法（注意事項・四肢の検索）						
第 8 週	挫傷等に対する救急処置法（安静・冷却・圧迫・挙上）						
第 9 週	障害の症状と対応（突指・骨折・捻挫・頭を強打した時の対処法）						
第 10 週	主な急性の運動障害と処置法・テーピングの技術（基本と注意点）実習						
第 11 週	主な急性の運動障害と処置法・テーピングの技術（基本と注意点）実習						
第 12 週	主な急性の運動障害と処置法・テーピングの技術（基本と注意点）実習						
第 13 週	救急救命処置実習						
第 14 週	救急救命処置実習						
第 15 週	救急救命処置実習						
第 16 週							
備 考	授業外学習（事前学習・事後学習）をおこなうこと						